

『大学教育再生加速プログラム（AP）』 テーマⅤ 「卒業時における質保証の取組の強化」

学内外の協働で育む学生の財産

 PROPERTIES



深澤 早苗（山梨学院短期大学 食物栄養科・教授）
遠藤 清香（山梨学院短期大学 保育科・教授）

PROPERTIESの4つの柱

PROPERTIES推進室
(学内組織)

協働

学外助言評価委員会
(学外組織)

①

取組

教育活動の
改善

タブレット端末活用
学修支援システム

⑥

PROPERTIES
e-learning

- ・オンライン学修
- ・アクティブ・ラーニング
- ・学修ポートフォリオ

DPを3要素に

②

専門的知識

Professional Knowledge

専門的実践力

Professional Performance

総合的人間力

Total Abilities

学内外の両輪で評価

内部評価

外部評価

GPA

③
資格試験の活用

GPA

④
学外者の直接評価

GPA

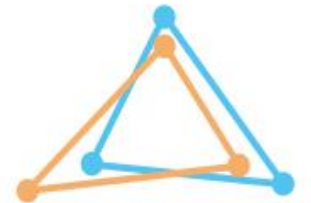
⑤
ボランティア・ハロースポート

学修成果を
社会に提示

⑦

学修成果
レーダーチャート

PROPERTIES
Radar Chart



⑧
卒業生追跡調査、学修行動調査の工夫と結果

主体的な学びの
促進
学修時間の増加

学外と共有
しうる明確な
評価視点

外部評価の導入
により客観性が
向上

多元的評価
一目でわかる

効果

②ディプロマ・ポリシー (DP) を三要素で概念化

専門的知識

Professional Knowledge

専門的実践力

Professional Performance

総合的人間力
Total Abilities

ディプロマポリシー
(食物栄養科栄養士コース)

1. 教養科目…多面的に物事を考える…
2. …豊かな人間性の基礎的資質を獲得…
3. …豊かな感性と健康な心身の基礎…
4. コンピューター…
5. 社会生活と健康との関わり…知識…
6. 人体の構造と機能に関する…知識と技術…
7. 食品と衛生に関する…知識と技術…
8. ライフステージと疾患に対応した栄養管理…
9. 栄養や健康の基本的な指導…
10. 給食の運営…に関する…知識や技術…
11. …栄養士としての実践力…
12. 食生活や健康の問題…論理的に表現…



三要素と学内・学外評価

学内外の両輪で評価

内部評価

外部評価

専門的知識
Professional Knowledge



GPA

資格試験の活用

専門的実践力
Professional Performance



GPA

学外者の直接評価

総合的人間力
Total Abilities



GPA

ボランティア・ハスポート

④専門的実践力外部試験の実際と成果(栄養士コース)

喫食者に見合った献立が作成できる 献立にそった調理ができる

＜内容＞ 成人女子(18～29歳)、身体活動レベルふつう(Ⅱ)が利用する
学食または社員食堂の冬(2月)の昼食献立を作成する。
また、その献立を実際に1人分調理する。

＜評価法＞ 3人の外部審査委員が10の評価視点につき、
それぞれ3段階評価(A・B・C)をする。

A：優れている(10点) B：普通(7点) C：劣る(5点)

各評価視点は10点満点で、計100点満点

3人の外部審査委員の得点を合計して平均点を算出し、
その値を「総合得点」とする。

それぞれの視点ごとの3人の外部審査委員の得点を合計して
平均点を算出し、「視点別得点」とする。



<10の評価視点>

2017年度実施後に評価視点の見直しを行い、
10の視点に修正した。

①以下の食事摂取基準を満たしているか

エネルギー	たんぱく質 エネルギー比率	脂質 エネルギー比率	炭水化物 エネルギー比率	食塩相当量
基準の±50kcal	13～20%	20～30%	50～65%	3g 以下

- ②食品構成をもとに、1食分として適切な量となっているか
- ③1食分の体裁（主食、主菜、副菜の組み合わせ、分量など）が整っているか
- ④各料理の味付けは適切であるか
- ⑤衛生的（食材の取り扱い、加熱状況等）な配慮がなされているか
- ⑥「給食」としての経済的な配慮がなされているか
- ⑦材料に対して適切な調理がなされているか（調理技術は適切であるか）
- ⑧適切な容器に体裁よく盛り付けられているか
- ⑨おいしそうな色合いとなっているか
- ⑩献立（料理）は、作成者の「意図」や「思い」が反映されているか



<審査員>

審査員長 山梨県栄養士会常務理事 管理栄養士
本学学外助言評価委員会委員

審査員 介護老人保健施設 管理栄養士
本学学外助言評価委員会委員

審査員 県内総合病院 管理栄養士
(1日目) 本学食物栄養科卒業生

審査員 県内総合病院 管理栄養士
(2日目) 本学食物栄養科卒業生



專門的實踐力外部試驗 作品例



学外の専門家からの評価



学外の専門家からの専門的実践力評価

<年度評価>

	A評価	B評価	C評価
2017 (H29) 年度	100%	0%	0%
2018 (H30) 年度	95%	5%	0%
2019 (R 元) 年度	24%	76%	0%

2017年度実施後に評価視点を見直したので、2018年度の評価が下がった。
また、2019年度は、“**現場での提供を重視した基準**”と、見直したことで、評価が下がった。

<2019年度 項目別評価>

	項目別得点 (平均点)
食事摂取基準	9.0±0.97
1食分の適切な量	7.8±0.73
1食分の体裁	7.5±0.69
味付け	7.3±0.77
衛生的な配慮	7.0±0.33
経済的な配慮	7.8±0.96
適切な調理	7.3±0.57
適切な容器	7.4±0.62
おいしそうな色合い	7.6±0.85
作者の意図や思いの反映	8.9±1.02

専門的実践力の学内・学外評価間の関連性

年度	専門実践力 GPA	専門的実践力外部試験 (平均点) *	r_s	P
2017年 (N=84)	2.67±0.43	92.1±3.9	0.17	0.12
2018年 (N=61)	2.67±0.36	88.9±5.4	0.40	0.0016

* 100点満点



試験に対する学外助言評価委員会の意見

2017年度
(H29)
年度

- ・ 外部試験では参考になる作品も多く、勉強になった。
- ・ 献立から考えて作るという経験は、学生にとってプラスであり、自信になったと思う。

2018年度
(H30)
年度

- ・ 学生たちの熱意が伝わる分、評価が甘くなってしまうが、厳しく審査したほうが学生のためになるだろう。
- ・ 年々改善を加えることでよりよい評価になっていく。
- ・ 外部試験の実施によって教員の指導が徹底されていることを感じた。
- ・ 全体講評の際に、各学生の課題について具体的に述べて共有することで、学生全員の学びとなる。



④専門的実践力外部試験の実際と成果(パティシエコース)

＜内容＞ 山梨県産の農産物や加工品を活用した
「オリジナルスイーツ」を一人1点製作

＜評価視点＞

- ①地域素材の活用
- ②独創性
- ③製菓技術（レシピ通りの製作 コストパフォーマンス）
- ④視覚性（うつくしさ センス 好感度）
- ⑤味覚性（おいしさ）



<審査員>

審査員長 山梨県洋菓子協会会長
県内洋菓子店代表取締役
本学学外助言評価委員会委員

審査員 山梨県製パン協同組合理事長
県内製パン会社代表取締役

審査員 県内カフェ オーナーパティシエ
本学食物栄養科卒業生



<評価法>

- ① 3人の外部審査委員それぞれに5つの評価視点で3段階評価(A・B・C)をする。5つの評価視点それぞれ20点満点で、計100点満点

A : 優れている(20点)

B : 普通(15点)

C : 劣る(10点)

- ② 3人の外部審査委員の得点を合計して平均点を算出し、その値を「総合得点」とする。

80 - 100点 : A評価

70 - 79点 : B評価

60 - 69点 : C評価

- ③ それぞれの視点ごとの3人の外部審査委員の得点を合計して平均点を算出し、「視点別得点」とする。



專門的實踐力外部試驗 作品例



学外の専門家からの評価



学外の専門家からの専門的実践力評価

<年度評価>

	A評価	B 評価	C評価
2016 (H28) 年度	93%	7%	0%
2017 (H29) 年度	100%	0%	0%
2018 (H30) 年度	100%	0%	0%
2019 (R 元) 年度	100%	0%	0%

<2019年度 項目別評価>

	項目別得点 (平均点)
地域食材の活用	19.8±0.6
独創性	19.3±1.0
製菓技術	19.2±1.4
視覚性	19.4±0.9
味覚性	19.1±1.2

専門的実践力の学内・学外評価間の関連性

年度	専門実践力GPA	専門的実践力外部試験 (平均点) *	r_s	P
2016年 (N=31)	2.67±0.47	92.4±7.3	0.26	0.16
2017年 (N=19)	2.62±0.64	94.4±3.4	0.094	0.70
2018年 (N=19)	2.53±0.41	97.5±2.2	0.42	0.074

* 100点満点



試験に対する学外助言評価委員会の意見

2016年度

- ・ 学生を対象にした試験に外部評価を導入するという試みは素晴らしい。
- ・ 国の基準で実施される技能検定等は今までもあるが、外部の評価者による実践力試験はこれまでにない試みである。
- ・ 評価基準を独自に設定できるところがよい。「コストパフォーマンス」を評価視点に加えてはどうか（2017（平成29）年度に改善）。
- ・ 専門的実践力外部試験に評価者として参加し、学生たちの創造性の高さに驚いた。

2017年度

- ・ すぐに店頭に出せるクオリティのものもたくさんあった。
- ・ 学生が、外部者による評価と自己評価とのズレを知ることが重要である。
- ・ 学生がやってよかったと思え、さらにやる気が増すような試験にしていってほしい。
- ・ 食材選びや技術、どのようなものを作りたいかの姿勢が昨年よりも向上している。



④専門的実践力外部試験の実際と成果(保育科)

<内容>

実際の保育の現場、すなわち、子どもとのかかわり、保育者との協働、保護者への支援等の場面における細やかな「気づき」を「専門的実践力」として捉え、2年次の幼稚園実習期間中の保育の取組に関して、**学外者（実習園の教員）から評価を受ける。**

<評価視点>

- ①保育における気づきの早さ、的確さ
- ②気づいたことに対する行動力
- ③気づいたことに対する意識の持続性

<評価法>

上記の3つの視点（10点×3＝30点）で、学生の保育の様子を総合的に評価。各視点の評価はそれぞれ、**A（優れている）10点、B（良い）7点、C（努力が必要である）5点で評価する。**



学外の専門家からの専門的実践力評価

	合計点 (30点満点)	気づき		行動力		意識の持続性	
2018 (H30) 年度 (N=155)	22.5±4.2	A評価	26.5%	A評価	35.5%	A評価	22.0%
		B評価	56.8%	B評価	45.8%	B評価	58.0%
		C評価	16.7%	C評価	18.7%	C評価	20.0%
2019 (R元) 年度 (N=160)	23.2±3.7	A評価	29.4%	A評価	36.3%	A評価	23.7%
		B評価	65.3%	B評価	55.6%	B評価	66.3%
		C評価	4.4%	C評価	8.1%	C評価	10.0%



専門的実践力の学内・学外評価間の関連性

年度	専門実践力GPA	専門的実践力外部試験 (平均点) *	r_s	P
2018年 (N=155)	2.47 ± 0.36	22.4 ± 4.2	0.66	< 0.0001

* 30点満点



試験に対する学外助言評価委員会の意見

2017年度

- ・ 保育科の実践力は、お菓子等のように成果物を評価するのとは異なる点が難しい。
- ・ 実践力の基礎には、「総合的人間力」がある。

2018年度

- ・ 保育の実践力において、「気づき」を評価する視点がよい。
- ・ 日本赤十字社の青少年赤十字では「気づき・考え・実行する」を目標としている。保育においても実行するというステップを大事にしていくとよい。
- ・ 評価者への説明を丁寧に行うことが大切である。評価視点についての理解を深めるためにも継続実施が必要である。



「専門的実践力外部試験」を新規導入して

- 各科・コースの外部評価において高い評価を得たことは、本学が取り組んできた実際の「現場」を想定した実践力の育成が高い成果をあげていることを確認できた
- 学生にとって、自信をもって社会に踏み出せる機会になっている
- 教員にとって、社会で求められる学修成果を確認できる機会になっている

教育改善へ繋がっていく



PROPERTIESの4つの柱

PROPERTIES推進室
(学内組織)

協働

学外助言評価委員会
(学外組織)

①

取組

教育活動の
改善

タブレット端末活用
学修支援システム

⑥

PROPERTIES
e-learning

- ・オンライン学修
- ・アクティブ・ラーニング
- ・学修ポートフォリオ

DPを3要素に

②

専門的知識

Professional Knowledge

専門的実践力

Professional Performance

総合的人間力

Total Abilities

学内外の両輪で評価

内部評価

外部評価

GPA

③
資格試験の活用

GPA

④
学外者の直接評価

GPA

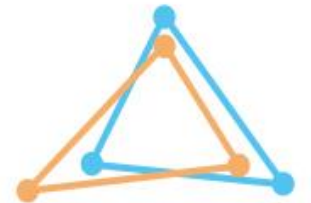
⑤
ボランティア・ハロースポート

学修成果を
社会に提示

⑦

学修成果
レーダーチャート

PROPERTIES
Radar Chart



⑧
卒業生追跡調査、学修行動調査の工夫と結果

主体的な学びの
促進
学修時間の増加

学外と共有
しうる明確な
評価視点

外部評価の導入
により客観性が
向上

多元的評価
一目でわかる

効果

⑦学修成果を目に見える形で社会に提示

- ▶ 学修成果をわかりやすく社会に提示することを目的に学修成果レーダーチャート（学修成果証明書）を開発
- ▶ 就職先に提示するように卒業生に配付



学修成果証明書

学科・コース名

氏名

保育科



学修成果証明書

学科・コース名

氏名

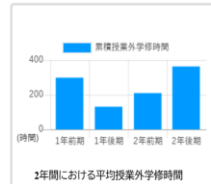
山梨学院短期大学

山梨学院短期大学 学修成果証明書

本学では、専門職として社会に貢献しうる力を卒業時に学生が確実に身につけることを目標に、教育活動に取り組んでいます。本学修成果証明書は、学生が身につけた「専門的知識(Professional Knowledge)」「専門的実践力(Professional Performance)」「総合的人間力(Total Abilities)」の評価結果を提示するものです。

基本情報	
学籍番号	
氏名(フリガナ)	
学科・コース名	保育科
学位・資格等	
学位	短期大学士(保育学)
資格・免許	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状 小学校教諭二種免許状 認定ベビーシッター(公益社団法人全国保育サービス協会) 認定ピアヘルパー(NPO 日本教育カウンセラー協会)
卒業レポート	
テーマ	音楽と映画の場面での関係性 —映画「菊次郎の夏」と主題音楽「Summer」の2つの作品を通して—
卒業演習担当教員	萩原 千史

●授業外学修時間の記録

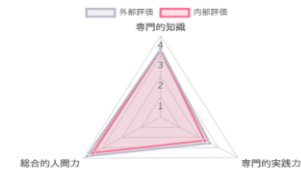


●特記事項

学友会執行部に所属し、副会長を務めた。文化祭では子ども向けのブースを作り、子どもたちと多く交流した。
ゼミ活動では、音楽を用いた大型絵本の読み聞かせ会を幼稚園児対象に行った。

2年間の学修成果のまとめ

●学修成果レーダーチャート



	内部評価	外部評価	GPA	専門的知識に関する授業科目のGPA
専門的知識			GPA 3.3	保育科専門的知識外部試験(保育士試験の筆記試験に準拠した試験)100点満点 2018年度平均点(本学)145.3点
			得点 83点	
専門的実践力			GPA 2.3	専門的実践力に関する授業科目のGPA
			得点 19点	保育科専門的実践力外部試験 30点満点 2018年度平均点(本学)121.6点
総合的人間力			GPA 3.5	総合的人間力に関する授業科目のGPA
			総活動時間30時間30分	ボランティア活動

●ボランティア活動記録

No	年月日	活動内容	活動時間
1	2017/09/23	サッカーの試合の運営補助	7:00
2	2017/10/27	スケートの大会の運営補助	8:30
3	2018/06/09	やまなし食育推進ボランティア	10:00
4	2018/12/15	障害者支援施設でのイベントの利用者支援	8:00
5			
6			
7			
8			
9			
10			

上記の通り、相違ないことを証明します。

2019年3月18日 山梨学院短期大学

※本学修成果証明書は、平成28年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム(A-P)」認定事業である「PROPERTIES」の数値の一端として作成しました。

備考：2年間の学修成果のまとめ指標について

内部評価:GPAについて

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGPI(グレードポイント)を右のとおり定めている。GPIの平均値としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)を算出する。「専門的知識」「専門的実践力」「総合的人間力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績評価基準	表示	GP
合格	90-100点	⑤	4.0
	80-89点	A	3.0
	70-79点	B	2.0
	60-69点	C	1.0
	59点以下	D	0.0
不合格	試験放棄等	-	0.0

専門的知識外部評価:保育科「専門的知識外部試験(保育士試験に準拠)」について

「保育士試験」は、保育士(国家資格)取得のための試験(指定試験機関:一般社団法人全国保育士養成協議会)であり、筆記試験と実地試験によって実施される。筆記試験は「保育原理」「教育心理学及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」からなる。本学保育科では、これらの筆記試験に準拠した試験を専門的知識外部評価の指標としている。

●問題数:

- ①過去4回分の保育士試験(筆記試験)の「保育原理」「教育心理学及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」から計40問(各2.5点・40問・100点)
- ②過去4回分の保育士試験(筆記試験)の「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」から計40問(各2.5点・40問・100点)

●試験時間:①・②各80分

- 評価:素点:①・②両方で60点以上の場合、合格とする。

専門的実践力外部評価:保育科「専門的実践力外部試験」について

本学保育科では、2年間の学びを経て身につけた「専門的実践力」が、実際の保育の現場、すなわち子どものかかわり、保育者との協働、保護者への支援等の場面における糧やかな「気づき」として表出するものと考えている。本試験では、学外の保育者が評価者となり、この専門的実践力を直接評価する。

- 課題:幼稚園等に於いて一定期間、保育を行う。学生が行う保育実践全般を評価対象とする。

●評価視点:

- ①保育における気づきの早さ・的確さ
- ②気づいたことに対する行動力
- ③気づいたことに対する意識の持続性

- 評価:学外の幼稚園等の保育者複数名による評価(10点・3観点)の素点

総合的人間力外部評価:ボランティア活動について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身につけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人間力外部評価の指標としている。「真に社会に貢献しうる力」を身につけることができよう、2年間を通じてボランティア活動を行うことを推奨している。

山梨学院短期大学 学修成果証明書

本学では、専門職として社会に貢献する力を卒業時に学生が確実に身につけることを目標に、教育活動に取り組んでいます。本学修成果証明書は、学生が身につけた「専門的知識(Professional Knowledge)」「専門的実践力(Professional Performance)」「総合的人間力(Total Abilities)」の評価結果を提示するものです。

基本情報

学籍番号	
氏名(フリガナ)	
学科・コース名	保育科

学位・資格等

学位	短期大学士(保育学)
資格・免許	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状 小学校教諭二種免許状 認定ベビシッター(公益社団法人全国保育サービス協会) 認定ピアヘルパー(NPO 日本教育カウンセラー協会)

卒業レポート

テーマ	音楽と映画の場面での関係性 —映画「菊次郎の夏」と主題音楽「Summer」の2つの作品を通して—
卒業演習担当教員	荻原 千史

● 授業外学修時間の記録



2年間における平均授業外学修時間

11.53時間/週

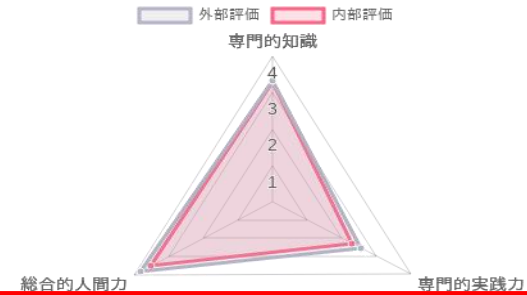
● 特記事項

学友会執行部に所属し、副会長を務めた。文化祭では子ども向けのブースを作り、子どもたちと多く交流した。

ゼミ活動では、音楽を用いた大型絵本の読み聞かせ会を幼稚園児対象で行った。

2年間の学修成果のまとめ

● 学修成果レーダーチャート



専門的知識	内部評価		GPA 3.3	専門的知識に関する授業科目のGPA
	外部評価		得点 83点	保育科専門的知識外部試験(保育士試験の筆記試験に準拠した試験)100点満点 2018年度平均点(本学)65.2点
専門的実践力	内部評価		GPA 2.3	専門的実践力に関する授業科目のGPA
	外部評価		得点 19点	保育科専門的実践力外部試験 30点満点 2018年度平均点(本学)21.8点
総合的人間力	内部評価		GPA 3.5	総合的人間力に関する授業科目のGPA
	外部評価		総活動時間30時間30分	ボランティア活動

● ボランティア活動記録

No	年月日	活動内容	活動時間
1	2017/09/23	サッカーの試合の運営補助	7:00
2	2017/10/27	スケートの大会の運営補助	8:30
3	2018/06/09	やまなし食育推進ボランティア	10:00
4	2018/12/15	障害者支援施設でのイベントの利用者支援	5:00
5			
6			
7			
8			
9			
10			

上記の通り、相違ないことを証明します。

2019年3月15日 山梨学院短期大学

※本学修成果証明書は、平成28年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム(A P)」選定事業である「PROPERTIES」の取組の一環として作成しました。

備考：「学習」の学習成果のまとめ情報について

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGP(グレードポイント)を右のとおり定めている。GPの平均値としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)を算出する。「専門的知識」「専門的実践力」「総合的人間力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績評価基準	表示	GP
合格	90~100点	Ⓐ	4.0
	80~89点	A	3.0
	70~79点	B	2.0
	60~69点	C	1.0
不合格	59点以下	D	0.0
	試験放棄等	-	0.0

「保育士試験」は、保育士(国家資格)取得のための試験(指定試験機関「一般社団法人全国保育士養成協議会」であり、筆記試験と実地試験によって実施される。筆記試験は「保育原理」「保育実習及び社会の概論」「児童家庭福祉」「社会福祉」「保育の心構え」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」からなる。本学保育科では、これらの筆記試験に準拠し、試験科目の選択や科目の配分を行っている。

・試験科目：
①過去10年分の保育士試験(筆記試験)の「保育原理」「保育実習及び社会の概論」「児童家庭福祉」「社会福祉」から計4科目(各2科目×100点)
②過去10年分の保育士試験(筆記試験)の「保育の心構え」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」から計4科目(各2科目×100点)
・試験時間：①・②各40分

専門的実践力外部評価「保育科」専門的実践力外部試験について

本学保育科では、4年間の学びを経て身につけた「専門的実践力」が、実際の保育の現場、すなわち、子どものかかわり、保育者としての知識、保護者への支援等の現場における能力が「実地」として表出するものとされている。本試験では、学生の保育者が評価者となり、この専門的実践力を直接評価する。

・課題：幼稚園等において一定期間、保育を行う。学生が行う保育実践活動を評価対象とする。

・評価項目：
①保育における気づきの早さ・的確さ
②気づいたことに対する行動力
③気づいたことに対する態度の積極性

総合的人間力外部評価「ボランティア活動」について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力をつけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人間力外部評価の指標としている。自らに社会に貢献しようとする意欲が表出することができよう。活動を通してボランティア活動を自らに生かしている。

内部評価：GPAについて

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGP(グレードポイント)を右のとおり定めている。GPの平均値としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)を算出する。「専門的知識」「専門的実践力」「総合的人間力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績評価基準	表示	GP
合格	90~100点	Ⓐ	4.0
	80~89点	A	3.0
	70~79点	B	2.0
	60~69点	C	1.0
不合格	59点以下	D	0.0
	試験放棄等	-	0.0

備考：「専門的知識外部評価の概要」について

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGPA(グレートポイント)を右のとおり定めている。GPAの算出はGPA(グレートポイント・アベレージ)を算出する。「専門的知識」「専門的実能力」「総合的人能力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績の表示	換算	GPA
合格	80-100点	◎	4.0
	60-79点	A	3.0
	70-79点	B	2.0
不合格	40-59点	C	1.0
	30点以下	D	0.0
	試験放棄等	-	0.0

「保育士試験」は、保育士(国家資格)取得のための試験(指定試験機関：一般社団法人全国保育士養成協議会)であり、筆記試験と実技試験によって実施される。筆記試験は「保育原理」「教育原理及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」からなる。本学保育科では、これらの筆記試験に準拠した試験を専門的知識外部評価の指標としている。

●問題数：

- ①過去4回分の保育士試験(筆記試験)の「保育原理」「教育原理及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」から計40問(各2.5点×40問=100点)
- ②過去4回分の保育士試験(筆記試験)の「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」から計40問(各2.5点×40問=100点)

●試験時間：①・②各80分

●評価：素点。①・②両方で60点以上の場合、合格とする。

専門的実能力外部評価「保育科」専門的実能力外部試験について

本学保育科では、4回分の学びを経て身につけた「専門的実能力」が、実際の保育の現場、すなわち、子どもとのかかわり、保育者としての知識、保護者へや児童等との関わりにおける能力が「気づき」によって表出するものにとらえている。本試験では、学生の保育者が評価者となり、この専門的実能力を直接評価する。

●課題：給養園等において一定期間、保育を行う。学生が行う保育実践全般を評価対象とする。

●評価観点：

- ①保育における気づきの早さ・的確さ
- ②気づいたことに対する行動力
- ③気づいたことに対する態度・継続性

総合的人能力外部評価「ボランティア活動」について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力をつけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人能力外部評価の指標としている。自らに社会貢献していることを実感することができよう。授業を通してボランティア活動を学ぶことを推奨している。

山形学院大学
〒400-8777 山形県山形市西町1-4-7 TEL:0977(224)1400

PROPERTY'S

専門的知識外部評価：保育科「専門的知識外部試験(保育士試験に準拠)」について

「保育士試験」は、保育士(国家資格)取得のための試験(指定試験機関：一般社団法人全国保育士養成協議会)であり、筆記試験と実技試験によって実施される。筆記試験は「保育原理」「教育原理及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」からなる。本学保育科では、これらの筆記試験に準拠した試験を専門的知識外部評価の指標としている。

●問題数：

- ①過去4回分の保育士試験(筆記試験)の「保育原理」「教育原理及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」から計40問(各2.5点×40問=100点)
- ②過去4回分の保育士試験(筆記試験)の「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」から計40問(各2.5点×40問=100点)

●試験時間：①・②各80分

●評価：素点。①・②両方で60点以上の場合、合格とする。

備考：2年間の学習成果のまとめ方について

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGPA(グレードポイント)を右のとおり定めている。GPAの算出は次のGPAグレード・ポイント・アベレージを算出する。「専門的実践力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績内訳率	表示	GPA
合格	80～100点	◎	4.0
	60～80点	A	3.0
	70～79点	B	2.0
	60～69点	C	1.0
不合格	60点以下	D	0.0
平均値	試験対象数	-	0.0

「専門的実践力外部評価:保育科「専門的実践力外部試験」について

「保育士試験」は、保育士(国家資格)取得のための試験(指定試験機関「一般社団法人全国保育士養成協議会」であり、指定試験・実施機関として実施する。指定試験は「保育科」「保育者としての実践力」を養成し、養成機関は「社会福祉」「保育の心構え」「子どもの保護」「子どもの食と栄養」「保育実習」からなる。本学保育科では、これらの試験に準拠し、試験科目の試験科目の試験科目を定めている。

● 課題数：
① 社会福祉(保育士試験)「筆記試験」(保育実習「保育実習及び社会的責任」)「児童福祉」「社会福祉」から計4問(各2点・4問・8点)
② 社会福祉(保育士試験)「筆記試験」(保育の心構え「子どもの保護」「子どもの食と栄養」)「保育実習」から計4問(各2点・4問・8点)
● 試験時間：①・②各40分
● 試験形式：①・②各筆記・口頭・面接・グループワーク

専門的実践力外部評価:保育科「専門的実践力外部試験」について

本学保育科では、2年間の学びを経て身につけた「専門的実践力」が、実際の保育の現場、すなわち、子どもとのかかわり、保育者との協働、保護者への支援等の場面における細やかな「気づき」として表出するものととらえている。本試験では、学外の保育者が評価者となり、この専門的実践力を直接評価する。

● 課題：幼稚園等において一定期間、保育を行う。学生が行う保育実践全般を評価対象とする。

● 評価視点：
① 保育における気づきの早さ・的確さ
② 気づいたことに対する行動力
③ 気づいたことに対する意識の持続性

適合的人力外部評価:ボランティア活動について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身につけ、豊かな人間性を身につけることができよう。ボランティア活動は適合的人力外部評価の対象として、社会に貢献しうる力を身につけることができるよう、2年間を通じてボランティア活動を行うことを推奨している。

〒400-8575 山形県山形市山形 山形学院専門学校 TEL:0191(224)1400

専門的実践力外部評価:保育科「専門的実践力外部試験」について

本学保育科では、2年間の学びを経て身につけた「専門的実践力」が、実際の保育の現場、すなわち、子どもとのかかわり、保育者との協働、保護者への支援等の場面における細やかな「気づき」として表出するものととらえている。本試験では、学外の保育者が評価者となり、この専門的実践力を直接評価する。

- 課題：幼稚園等において一定期間、保育を行う。学生が行う保育実践全般を評価対象とする。
- 評価視点：
 - ① 保育における気づきの早さ・的確さ
 - ② 気づいたことに対する行動力
 - ③ 気づいたことに対する意識の持続性
- 評価：学外の幼稚園等の保育者複数名による評価(10点×3視点)の素点

備考：2年間の学習成果のまとめ指標について

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGPA(グレードポイント)を右のとおり定めている。GPAの算出はGPA(グレードポイント・アベレージ)を算出する。「専門的知識」「専門的実践力」「総合的人間力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績評価基準	表示	GPA
合格	80~100点	◎	4.0
	60~80点	A	3.0
	70~79点	B	2.0
	60~69点	C	1.0
不合格	60点以下	D	0.0
平均値	試験対象履修	-	0.0

「保育士試験」は、保育士(国家資格)取得のための試験(指定試験機関：一般社団法人全国保育士養成協議会)であり、筆記試験と実技試験より構成される。筆記試験は「保育概論」「保育心理学及び社会福祉」「児童福祉法」「社会福祉」「保育の心構え」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」からなる。本学保育科では、これらの筆記試験に準拠した試験科目の履修が必須となっている。

●課題数：
①過去4科目の保育士試験(筆記試験)の「保育概論」「保育心理学及び社会福祉」「児童福祉法」「社会福祉」から計4問(各25点・100点)
②過去4科目の保育士試験(筆記試験)の「保育の心構え」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」から計4問(各25点・100点)

●試験時間：①・②各40分
③実地・応用・応用実践科目の授業・実習による

専門的実践力外部評価：保育科「専門的実践力外部試験」について

本学保育科では、2年間の学びを通じて身につけた「専門的実践力」が、実際の保育の現場、すなわち、子どもとのかかわり、保育者としての知識、保護者への文書等の場面における能力が「身につけて表現するもの」となっている。本試験では、卒外の保育者が評価者となり、この専門的実践力を直接評価する。

●課題：給養園等において一定期間、保育を行う。学生が行う保育実践全般を対象とする。

●評価項目：
①保育における気づきの早さ・的確さ
②気づいたことに対する行動力
③気づいたことに対する態度の持続性

総合的人間力外部評価：ボランティア活動について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身につけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人間力外部評価の指標としている。「真に社会に貢献しうる力」を身につけることができるよう、2年間を通じてボランティア活動を行うことを推奨している。

〒400-8575 山形県山形市山形一-4-1 TEL:0191(224)1400

PROPERTY'S

総合的人間力外部評価：ボランティア活動について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身につけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人間力外部評価の指標としている。「真に社会に貢献しうる力」を身につけることができるよう、2年間を通じてボランティア活動を行うことを推奨している。

学修成果証明書(栄養士コース)

山梨学院短期大学 学修成果証明書

本学では、専門職として社会に貢献する力を卒業時に学生が確実に身につけることを目標に、教育活動に取り組んでいます。本学修成果証明書は、学生が身につけた「専門的知識(Professional Knowledge)」「専門的実践力(Professional Performance)」「総合的人間力(Total Abilities)」の評価結果を提示するものです。

基本情報	
学籍番号	
氏名 (フリガナ)	
学科・コース名	食物栄養科 栄養士コース

学位・資格等	
学位	短期大学士(食物栄養学)
資格・免許	栄養士

卒業レポート	
テーマ	高校生ハンドボール選手の身体状況および栄養摂取量に関する研究 —In-bodyによる体組成調査・BDHQによる食事調査—
卒業演習担当教員	青木 慎悟

● 授業外学修時間の記録

2年間における平均授業外学修時間
10.67 時間/週

● 特記事項

小学四年生の時から、ハンドボールを現在まで継続している。短大在学中の2年間、国体メンバーに選抜され、山梨県の代表として国民体育大会に出場した。また、山梨市ハンドボールスポーツ少年団でコーチとして1年半活動し、練習や遠征、大会の補助などを週に3回、1日平均4時間活動した(合計活動時間は360時間以上)。ハンドボールだけでなく、様々なスポーツイベントにも参加した。
日々の学修を怠らず、ノート作りや予習復習に力を注いだ。

2年間の学修成果のまとめ

● 学修成果レーダーチャート

評価項目	内部評価	外部評価
専門的知識	GPA 3.1	得点 50点
専門的実践力	GPA 3.2	得点 95点
総合的人間力	GPA 2.8	経活動時間 40時間

● ボランティア活動記録

No	年月日	活動内容	活動時間
1	2017/07/08	ハンドボールスポーツ少年団でのスポーツ指導・補助	8:00
2	2017/07/09	ハンドボールスポーツ少年団でのスポーツ指導・補助	8:00
3	2017/11/03	地域イベントでの運営・調理補助	8:00
4	2018/09/30	高齢者のための健康づくり教室の運営・調理補助	4:00
5	2018/11/24	ハンドボールスポーツ少年団でのスポーツ指導・補助	12:00
6			
7			
8			
9			
10			

上記の通り、相違ないことを証明します。

2019年3月15日 山梨学院短期大学

※本学修成果証明書は、平成28年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム(AP)」選定事業である「PROPERTIES」の取組の一環として作成しました。

備考：2年間の学修成果のまとめ指標について

内部評価：GPAについて

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGP(グレードポイント)を右のとおり定めている。GPの平均値としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)を算出する。「専門的知識」「専門的実践力」「総合的人間力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績評価基準	表示	GP
合格	90~100点	A	4.0
	80~89点	A	3.0
	70~79点	B	2.0
	60~69点	C	1.0
不合格	59点以下	D	0.0
	試験放棄等	-	0.0

専門的知識外部評価：栄養士コース「専門的知識外部試験(栄養士実力認定試験)」について

「栄養士実力認定試験」は、栄養士の資質向上と質の均一化を図るとともに、各養成施設の教育に資することを目的とした試験で、栄養士・管理栄養士の養成施設(学校)の学生や卒業生が、自分自身の知識・実力を知るために受験する。本学食物栄養科栄養士コースでは、本試験を専門的知識外部評価の指標としている。

- 主催：一般社団法人 全国栄養士養成施設協会
- 問題数：85問(85点満点)
- 試験時間：120分
- 評価：素点の点数およびA、B、Cの3段階評価

専門的実践力外部評価：栄養士コース「専門的実践力外部試験」について

本学食物栄養科栄養士コースでは「喫食者に見合った献立が作成できること」「献立にそった調理ができること」を栄養士の最も基本的専門的実践力ととらえている。本試験では、学外の管理栄養士・栄養士が評価者となり、これらの専門的実践力を直接評価する。

- 課題：成人女性(18~29歳)、身体活動レベルふつう(Ⅱ)が利用する学食(学生寮)または社員食堂の冬(2月)の昼食献立を作成する。また、その献立を実際に調理し、一人分を提出する。
- 評価視点：
 - ①食事摂取基準を満たしているか
 - ②食品構成をもとに、1食分として適切な量となっているか
 - ③1食分の体裁(主食、主菜、副菜の組み合わせ、分量など)が整っているか
 - ④各料理の味付けは適切であるか
 - ⑤衛生的(食材の取り扱い、加熱状況等)な配慮がなされているか
 - ⑥「給食」としての経済的な配慮がなされているか
 - ⑦材料に対して適切な調理がなされているか(調理技術は適切であるか)
 - ⑧適切な容器に体裁よく盛り付けられているか
 - ⑨おいしそうな色合いとなっているか
 - ⑩献立(料理)は、作成者の「意図」や「思い」が反映されているか
- 評価：学外の管理栄養士・栄養士3名による評価(10点×10視点)の平均点

総合的人間力外部評価：ボランティア活動について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身につけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人間力外部評価の指標としている。「真に社会に貢献する力」を身につけることができるよう、2年間を通じてボランティア活動を行うことを推奨している。

学修成果証明書(パティシエコース)

山梨学院短期大学 学修成果証明書

本学では、専門職として社会に貢献する力を卒業時に学生が確実に身につけることを目標に、教育活動に取り組んでいます。本学修成果証明書は、学生が身につけた「専門的知識(Professional Knowledge)」「専門的実践力(Professional Performance)」「総合的人間力(Total Abilities)」の評価結果を提示するものです。

基本情報	
学籍番号	
氏名 (フリガナ)	
学科・コース名	食物栄養科 パティシエコース

学位・資格等	
学位	短期大学士(食物栄養学)
資格・免許	製菓衛生師 スイーツマイスター

卒業レポート	
テーマ	山梨県産の農畜産物や加工品を活用したスイーツの開発 製パン: 野菜たっぷりキッシュパンの製作
卒業演習担当教員	塚原 順子

● 授業外学修時間の記録

2年間における平均授業外学修時間
6.16 時間/週

● 特記事項

1年次には、山梨中央銀行との連携事業「ドリームケーキプロジェクト」において、未来のパティシエ賞を受賞した「ねこちゃんケーキ」の製作に携わった。
2年次には、山梨ケーキショー2018において、オリジナル作品「化石発掘!」を製作して応募し、タカナシ販売賞を受賞した。また、「スイーツショップ実習」において、パティシエコース開設以来初めて「生」の和・洋菓子、パンの製造および販売を行った。特に、パン販売では、店長として店舗運営の中心的役割を果たした。
学内で行われるアルティアセタ祭りにおいて、2年間本コースのブース運営に携わり、揚げパン販売を行って夏祭りを盛りあげた。

2年間の学修成果のまとめ

● 学修成果レーダーチャート

評価項目	内部評価	外部評価	評価結果
専門的知識	GPA 3.1	460点	6割(360点)以上で合格
専門的実践力	GPA 3.3	100点	2018年度平均点(本学) 97.5点
総合的人間力	GPA 2.9	20時間	ボランティア活動

● ボランティア活動記録

No	年月日	活動内容	活動時間
1	2017/07/29	地域スポーツイベントの補助	4:00
2	2017/10/07	高校のスポーツイベントの補助	8:00
3	2018/04/17	山梨ケーキショー運営補助	2:00
4	2019/01/16	フードドライブ運営補助	6:00
5			
6			
7			
8			
9			
10			

上記の通り、相違ないことを証明します。
2019年3月15日 山梨学院短期大学

※本学修成果証明書は、平成28年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム(AP)」選定事業である「PROPERTIES」の取組の一環として作成しました。

備考：2年間の学修成果のまとめ指標について

内部評価：GPAについて

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGP(グレードポイント)を右のとおり定めている。GPの平均値としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)を算出する。「専門的知識」「専門的実践力」「総合的人間力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績評価基準	表示	GP
合格	90~100点	Ⓐ	4.0
	80~89点	A	3.0
	70~79点	B	2.0
	60~69点	C	1.0
不合格	59点以下	D	0.0
	試験放棄等	-	0.0

専門的知識外部評価：パティシエコース「専門的知識外部試験(製菓衛生師試験)」について

製菓衛生師は、都道府県知事が行う製菓衛生師試験に合格した者に対して、各都道府県知事が付与する資格であり、製菓衛生師試験は「衛生法規」「公衆衛生学」「栄養学」「食品学」「食品衛生学」「製菓理論」「製菓実技」についての専門的知識を問うものである。本学食物栄養科パティシエコースでは、本試験を専門的知識外部評価の指標としている。

- 主催：厚生労働省・都道府県
- 問題数：60問(600点満点)
- 試験時間：120分
- 評価：素点(自己採点)およびA・B・Cの3段階評価

専門的実践力外部評価：パティシエコース「専門的実践力外部試験」について

本試験では、学外の製菓・製パン分野の専門家が評価者となり、製菓衛生師にかかわる専門的実践力を直接評価する。

- 課題：山梨県産の農畜産物や加工品を活用した「オリジナルスイーツ」を1点製作する。
- 評価視点：
 - ①地域素材の活用
 - ②独創性
 - ③製菓技術(レシピ通りの製作 コストパフォーマンス)
 - ④視覚性(うつくしさ センス 好感度)
 - ⑤味覚性(おいしさ)
- 評価：学外の製菓製パン分野の専門家3名による評価(20点×5視点)の平均点

総合的人間力外部評価：ボランティア活動について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身につけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人間力外部評価の指標としている。「真に社会に貢献する力」を身につけることができるよう、2年間を通じてボランティア活動を行うことを推奨している。

学修成果証明書(保育科)

山梨学院短期大学 学修成果証明書

本学では、専門職として社会に貢献する力を卒業時に学生が確実に身につけることを目標に、教育活動に取り組んでいます。本学修成果証明書は、学生が身につけた「専門的知識(Professional Knowledge)」「専門的実践力(Professional Performance)」「総合的人間力(Overall Abilities)」の評価結果を提示するものです。

基本情報	
学籍番号	
氏名(フリガナ)	
学科・コース名	保育科

学位・資格等	
学位	短期大学士(保育学)
資格・免許	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状 小学校教諭二種免許状 認定ベビーシッター(公益社団法人全国保育サービス協会) 認定ヒアヘルパー(NPO 日本教育カウンセラー協会)

卒業レポート	
テーマ	音楽と映画の場面での関係性 —映画「菊次郎の夏」と主題音楽「Summer」の2つの作品を通して—
卒業演習担当教員	萩原 千史

●授業外学修時間の記録

学期	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
平均授業外学修時間(分)	~300	~150	~200	~400

2年間における平均授業外学修時間
11.53時間週

●特記事項

学生会執行部に所属し、副会長を務めた。文化祭では子ども向けのブースを作り、子どもたちと多く交流した。
ゼミ活動では、音楽を用いた大型絵本の読み聞かせ会を幼稚園児対象に行った。

●2年間の学修成果のまとめ

●学修成果レーダーチャート

	内部評価	外部評価	専門的知識に関する授業科目のGPA
専門的知識	GPA 3.3	得点 83点	保育科専門的知識外部試験(保育士試験の筆記試験に準拠した試験)100点満点 2018年度平均点(本学)165.2点
専門的実践力	GPA 2.5	得点 19点	専門的実践力に関する授業科目のGPA 保育科専門的実践力外部試験 30点満点 2018年度平均点(本学)121.8点
総合的人間力	GPA 3.5	総活動時間 30時間30分	総合的人間力に関する授業科目のGPA ボランティア活動

●ボランティア活動記録

No	年月日	活動内容	活動時間
1	2017/09/23	サッカーの試合の運営補助	7:00
2	2017/10/27	スケートの大会の運営補助	8:30
3	2018/06/09	やまなし教育推進ボランティア	10:00
4	2018/12/15	障害者支援施設でのイベントの利用者支援	5:00
5			
6			
7			
8			
9			
10			

上記の通り、相違ないことを証明します。
2019年3月18日 山梨学院短期大学

※本学修成果証明書は、平成28年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム(A-P)」認定事業である「PROPERTIES」の取組の一環として作成しました。

備考：2年間の学修成果のまとめ指標について

内部評価：GPAについて

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGP(グレードポイント)を右のとおり定めている。GPの平均値としてGPA(グレード・ポイント・アベレージ)を算出する。「専門的知識」「専門的実践力」「総合的人間力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績評価基準	表示	GP
合格	90~100点	Ⓐ	4.0
	80~89点	A	3.0
	70~79点	B	2.0
	60~69点	C	1.0
不合格	59点以下	D	0.0
	試験放棄等	-	0.0

専門的知識外部評価：保育科「専門的知識外部試験(保育士試験に準拠)」について

「保育士試験」は、保育士(国家資格)取得のための試験(指定試験機関：一般社団法人全国保育士養成協議会)であり、筆記試験と実技試験によって実施される。筆記試験は「保育原理」「教育原理及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」からなる。本学保育科では、これらの筆記試験に準拠した試験を専門的知識外部評価の指標としている。

- 問題数：
 - ①過去4回分の保育士試験(筆記試験)の「保育原理」「教育原理及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」から計40問(各2.5点×40問=100点)
 - ②過去4回分の保育士試験(筆記試験)の「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」から計40問(各2.5点×40問=100点)
- 試験時間：①・②各80分
- 評価：素点。①・②両方で60点以上の場合、合格とする。

専門的実践力外部評価：保育科「専門的実践力外部試験」について

本学保育科では、2年間の学びを経て身につけた「専門的実践力」が、実際の保育の現場、すなわち、子どもとのかかわり、保育者との協働、保護者への支援等の場面における細やかな「気づき」として表出するものととらえている。本試験では、学外の保育者が評価者となり、この専門的実践力を直接評価する。

- 課題：幼稚園等において一定期間、保育を行う。学生が行う保育実践全般を評価対象とする。
- 評価視点：
 - ①保育における気づきの早さ・的確さ
 - ②気づいたことに対する行動力
 - ③気づいたことに対する意識の持続性
- 評価：学外の幼稚園等の保育者複数名による評価(10点×3視点)の素点

総合的人間力外部評価：ボランティア活動について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身につけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人間力外部評価の指標としている。「真に社会に貢献する力」を身につけることができるよう、2年間を通じてボランティア活動を行うことを推奨している。

「学修成果証明書」 就職先への提示までの流れ

- ▶ 授業外学修時間 1 年次から学生が継続的に入力
 - ▶ ボランティア活動 ボランティア・パスポートの記載を学生が転記
 - ▶ 内部評価（GPA） 2 年次末に教務システムから自動入力
 - ▶ 外部試験 2 年次末に教員が一括入力
 - ▶ プロフィール・特記事項 2 年次末に学生が入力
-
- ▶ 3 月（卒業式前日指導時）に 2 通印刷
 - ▶ 面談しながらゼミ教員が学生に渡す
 - ▶ 4 月に就職先に 1 通、学生自身が提出する

就職先からの声

- ▶ 2018年度保育科卒業生の就職先を対象に、2019年10月にアンケートを実施
- ▶ 学修成果証明書は参考になりましたか？

	非常に 参考になった	おおむね 参考になった	参考になった	あまり参考 にならなかった
2018年度 保育科卒業生 就職先 (n=48)	6 (12.5%)	22 (45.8%)	17 (35.4%)	3 (6.3%)

就職先からの声

証明書の内容と保育の現場で必要なことが重ね合わせることが難しかった。

学生時代の意欲や理解度を考察する材料とさせてもらっています。

評価の根拠(特にCなど悪い項目)がわかると、より本人の理解につながります。

学修成果と**もう少しパーソナルなもの**がわかるものがあると、より園にマッチングする学生が見えてくるのかもしれないと思います。

採用する際の保育士としての素養と人材として将来への期待があるため参考にしている。

学生生活の様子がわかりますので参考になります。

一人一人が責任感を持っている。証明書については、**少しいっしょに仕事をしてみてはじめて成果を実感**している。あまり重要というほどでもない。

就職先からの声

採用者の得意分野について理解することが出来、採用後得意分野を保育の中に取り入れた活動ができるように助言する参考になる

実習の様子や保育技術について知るために参考にさせていただいております。

教員から見た記述（学生の得手、不得手(もしくは伸びて欲しい点)）があるとよい。

採用してからの資質向上のアドバイスを行う時などにも参考になった。

学生時代に取り組んでいた事を詳しく知ることが出来大変参考になりました。また、外部評価の取り入れは、相対的な評価となる為とても良い事だと思いました。

採用し指導していくにあたり、参考になった。何を努力する必要があるかを書かれていて、役立った。

卒業時の保育スキルが明記されている事で、卒業生の得意不得意分野の把握が出来、人材運用に活用できると思う。

受けとっていません。卒業生に聞いてもよくわからないとのことでした。本人への周知も必要だと思います。

学外助言評価委員会の 「学修成果証明書」に対する意見

- ▶ 学修成果証明書は学生の2年間の学びが全てわかる。受け取る側は心してみなければいけない。
- ▶ 学修成果証明書について学生自身が語れるとよりよい。
- ▶ 外部評価が高いという結果は学生の励みになる。学修成果証明書を
通した振り返りを大切にしてほしい。
- ▶ 外部試験を行い、質の高い卒業生を輩出してくれている。卒業後のケアもしっかりしている。卒業後の受入先である就職先でもしっかり育てていかなければならないと感じた。



PROPERTIES

本学における 今後の課題

- ・ PROPERTIES e-learning
システムの充実
- ・ 専門的実践力外部試験の充実
- ・ ボランティア・パスポートの継続活用
- ・ 学修成果レーダーチャート
(学修成果証明書) の拡充・浸透



山梨学院短期大学
YAMANASHI GAKUIN JUNIOR COLLEGE